

3.2 ギャップファイラー-SFN送信における既設固定受信に対する影響調査

3.2.1 目的

SFN送信波による固定受信への影響を調査するため、擬似信号発生器(SG)にて規定電力を送出し、外部への漏れ込み量など諸特性を測定した。

3.2.2 調査場所及び期間

(1) 富山市地下道

2005年11月8日～11日

(2) JR高岡駅構内

2005年12月6日～8日

3.2.3 測定方法

ギャップファイラーの送信電力を1mWとし、受信エリア外周囲の3地点において、ギャップファイラーからの漏れ電波を14素子八木アンテナの高さを3mから10mまで可変させ、全周方向に回転させ最大となる値を測定した。

以下に富山市地下道及びJR高岡駅構内における、測定システムを示す。(図3-9及び図3-10参照)

(1) 富山市地下道

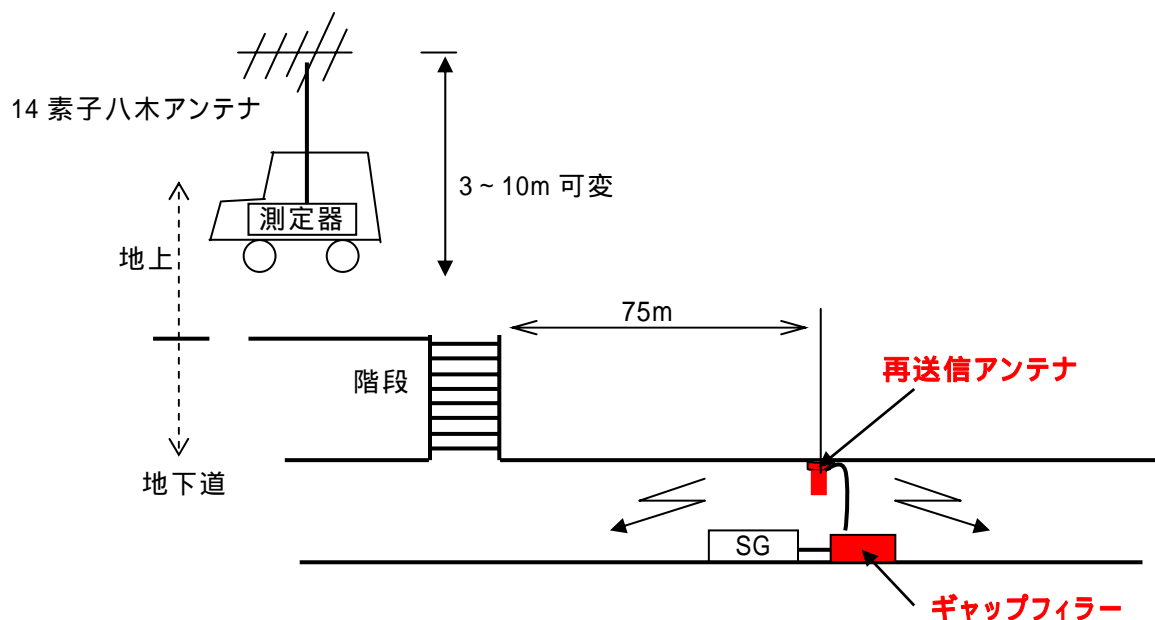


図3-9 富山市地下道測定系統図

(2) JR高岡駅構内

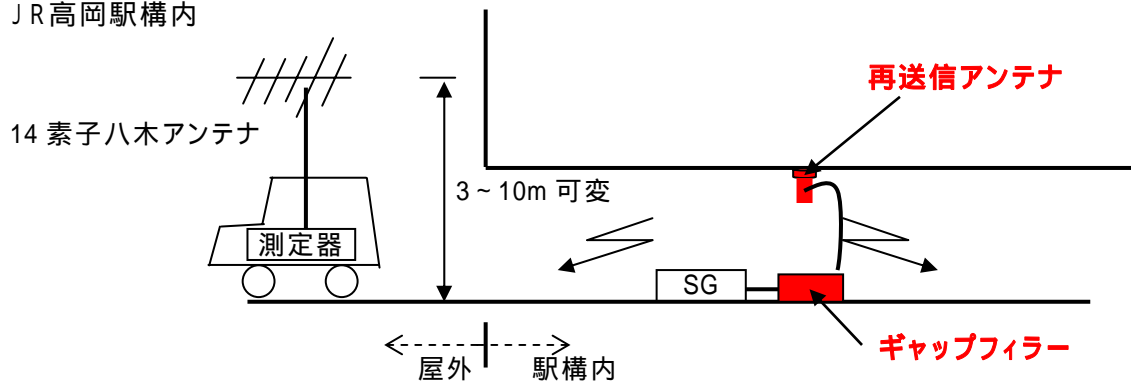


図3 - 10 JR高岡駅構内測定系統図

3.2.4 ギャップフィルラーSFN送信における既設固定受信に対する影響調査の測定場所及び結果

(1) 富山市地下道

表3 - 3 測定結果

項目	ポイント1	ポイント2	ポイント3
電界強度[dB μ V/m]	45.69	45.61	45.74
MER(A階層)[dB]	未測定	未測定	未測定
MER(B階層)[dB]	未測定	未測定	未測定
地下道入り口からの距離[m]	20m	80m	20m

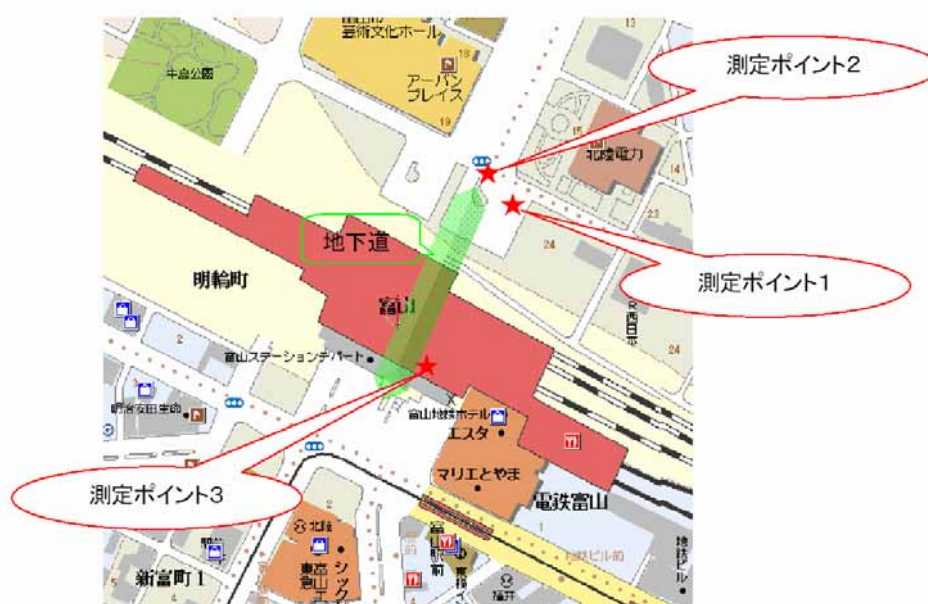


図3 - 11 富山市地下道測定場所

(2) JR高岡駅構内

表3 - 4 測定結果

項目	ポイント1	ポイント2	ポイント3
電界強度[dB μ V/m]	35.89	13.00	12.68
MER(A階層)[dB]	18.04	測定不能	測定不能
MER(B階層)[dB]	18.44	測定不能	測定不能
駅出入口からの距離[m]	60m	20m	20m

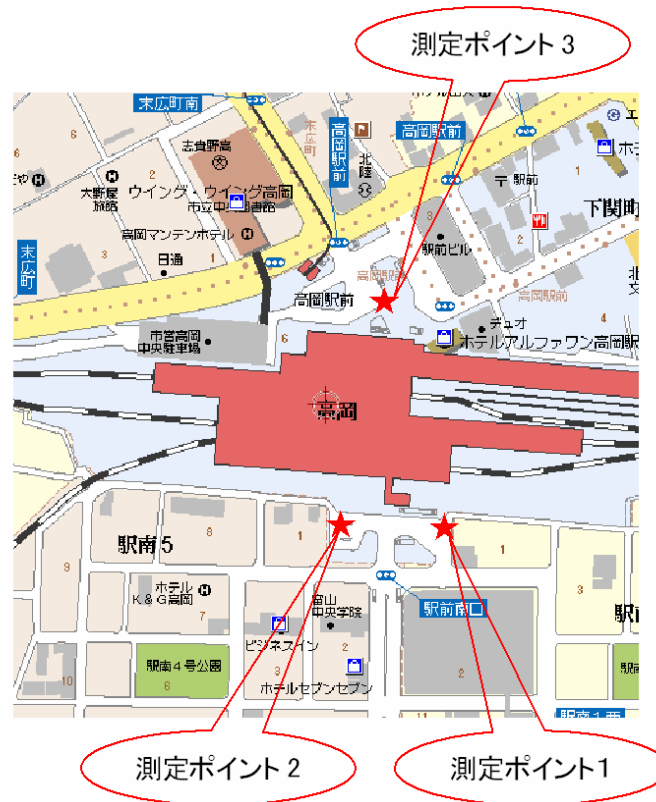


図3 - 12 JR高岡駅構内測定場所

3.2.5 ギャップフィルラーSFN送信における既設固定受信に対する影響調査の結果まとめ

(1) 富山市地下道

全ての受信点においてギャップフィルラーからの電界強度は $46\text{dB}\mu\text{V}/\text{m}$ 以下であった。富山市地下道は送信所からの距離も近く、放送局からの放送波の電界強度も強いことから、固定受信で問題となるレベルでないことを確認した。

既設固定受信している受像機にて画像確認したところ、ブロックノイズなどもなく画像を受信できた。

(2) JR高岡駅構内

全ての受信点においてギャップフィルラーからの電界強度は $36\text{dB}\mu\text{V}/\text{m}$ 以下を確認した。

既設固定受信している受像機にて画像確認したところ、ブロックノイズなどもなく画像を受信できた。